

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 11 日 (2022.1.11)

【公表番号】特表 2021-518189 (P2021-518189A)

【公表日】令和 3 年 8 月 2 日 (2021.8.2)

【年通号数】公開・登録公報 2021-034

【出願番号】特願 2020-549662 (P2020-549662)

【国際特許分類】

A 6 1 M 5/32 (2006.01)

A 6 1 B 5/153 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/32 5 1 0 H

A 6 1 B 5/153 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 12 月 3 日 (2021.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明のデバイスについて、以下の図面に関連してさらに記載し、説明する。

【図 1】図 1 は、本発明の血液採取管ホルダーの一実施形態の正面斜視図である。

【図 2】図 2 は、図 1 の血液採取管ホルダーの正面斜視図において針キャップが除去された図である。

【図 3】図 3 は、図 1 の血液採取管ホルダーの後部斜視図である。

【図 4】図 4 は、実質的に図 1 及び図 3 に示された血液採取管ホルダーの平面図である。

【図 5】図 5 は、図 1 の血液採取管ホルダーをその長手方向軸線を中心に時計回りに 90 度回転させた正面図である。

【図 6】図 6 は、図 5 の血液採取管ホルダーの背面図である。

【図 7】図 7 は、図 4 の血液採取管ホルダーの平面図において、針キャップが除去された図である。

【図 8】図 8 は、図 1 及び図 3 の血液採取管ホルダーの右側面図である。

【図 9】図 9 は、図 1 の血液採取管ホルダーをその長手方向軸線を中心に時計回りに 180 度回転させた左側面図である。

【図 10】図 10 は、図 5 の 10 - 10 線に沿う断面図である。

【図 11】図 11 は、図 1 の血液採取管ホルダーの分解斜視図である。

【図 12】図 12 は、図 7 の血液採取管ホルダーについて、静脈穿刺針が引き込まれた図である。

【図 13】図 13 は、図 5 の血液採取管ホルダーについて、針カバーが除去され、静脈穿刺針が引き込まれた図である。

【図 14】図 14 は、図 13 の 14 - 14 線に沿う断面図である。

【図 15】図 15 は、図 2 の血液採取管ホルダーについて、針が引き込まれた図である。

【図 16】図 16 は、図 11 の針支持部材を拡大して示す詳細図である。

【図 17】図 17 は、図 16 の針支持部材の背面斜視図であり、本発明の血液採取管ホルダーを通る長手方向軸線を中心に時計回りに 180 度回転させた図である。

【図 18】図 18 は、図 11 の管ホルダーコネクタを拡大して示す詳細図である。

【図 19】図 19 は、図 18 の管ホルダーコネクタの背面斜視図であり、本発明の血液採

取管ホルダーを通る長手方向軸線を中心に時計回りに１８０度回転させた図である。

【図２０】図２０は、図４の２０ - ２０線に沿う拡大断面図である。